2025年度 知的財産権委員会 活動報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

一般社団法人全日本文具協会

1．第36回国際文具紙製品展（ISOT2025）における模倣品実態調査

国際文具・紙製品展（ISOT）の全ての出展社には、主催者が「模倣問題に関する誓約書」の事前提出を義務付けており、同展における模倣品の展示・取引の防止に努めている。

当協会知的財産権委員会は、ISOT2025展示会場での模倣品展示の有無に関する調査を実施し、会期終了後、主催者に対して模倣品と疑われる文具製品の出展業者及び当該製品に関する情報を提供するとともに、当該出展社への適切な対応を求める要望書を提出した。

（ISOT2025からは、主催者の要請に基づき、協会と出展社との直接交渉を断念した。）

実施日時　2025年7月2日（水）10時30分～15時

実施場所　東京ビッグサイト東展示ホール

調査対象　ISOT2025の全出展ブース

参加人員　32人（委員30人、弁理士1人、事務局1人）

指導協力　創英国際特許法律事務所 副所長　黒川 朋也 弁理士

調査結果及び弁理士の見解

品名	権利者	対象権利	出展社国名	弁理士の見解
ペンケース	A社	意匠	中国	権利侵害と考える。
ペンケース	A社	意匠	中国	権利侵害の可能性はあるが、出願時の先行意匠と比較しないと最終判断はできない。
ペンケース	A社	意匠・商標	中国	意匠権侵害・商標権侵害と考える。（中国国内で製造された真正品の可能性あり。）

また、模倣品調査終了後、知的財産権委員等による知的財産権交流会を開催した。

2．第33回知的財産権3団体交流会の開催

全日本文具協会、日本玩具協会及び日本時計協会により、知的財産権に関する交流会を開催し、知的財産権に関する情報交換を行った（幹事団体：日本玩具協会）。

開催日時　2025年11月5日（水）15時～17時45分

開催場所　浅草セントラルホテル アネックス

内　　容　① 講演会

テーマ　Yahoo！JAPANにおける模倣品対策について

講　師　津田　要 氏（LINEヤフー株式会社 コマース部/メディア部）

② 各団体からの活動報告

・全日本文具協会「知財功労賞 特許庁長官賞受賞について」他

・日本時計協会「G-SHOCK 立体商標取得と今後の展望について」

・日本玩具協会「STマークの中国商標取得」他

参 加 者　54人（文具30人、時計11人、玩具13人）

3．知的財産権セミナーの開催（東京文具工業連盟と共催）

開催日時　2026 年 3 月１８日（水）14 時 30 分～17 時

開催場所　東京文具共和会館　４階Ｂ室（オンライン配信）

テ ー マ　代理人が教えない、企業と商標のウマい付き合い方

講　　師　友利　昴　先生（一級知的財産管理技能士・作家）

聴講者数　138 人

4．特許庁「商品・サービス国際分類改正に関する意見交換会」への参画

特許庁の商品・サービス国際分類改正に関する意見交換会に参画し（菊池委員）、ニース同盟専門家委員会への日本提案、商品・サービス国際分類表の改訂等に関する意見取り等に協力した。

5．その他の活動

2024 年度の知的財産権委員会活動報告書を当協会ホームページに掲載した。

6．知的財産権委員会リーダー会議の開催

第１回　2025 年 5 月 20 日（火）15 時～17 時　於 東京文具工業健保会館

第２回　2025 年 10 月 10 日（金）15 時～17 時　於 東京文具工業健保会館

以上